

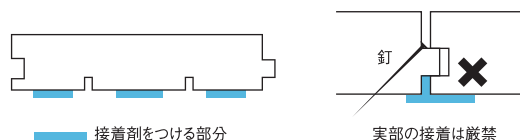
フローリング 施工要領

1. 施工前

- 直射日光や雨が当たる場所、湿度が高い場所での商品の保管はお止めください。
- 天然木のため、施工前に仮並べをして色、柄のバランスをご確認ください。その際、商品に不具合がないかご確認の上、お使いください。
- フローリングの含水率を現場の環境に馴染ませるため、施工する一週間前には開梱してください（レッドパインは、現場の空気に馴染ませると実が入りにくくなりますので、開梱後は早めに施工してください）。
- 床下の湿気による突き上げや、腐れを防ぐために床下には必ず換気口の設置をして、風通し良くしてください。
- 床下の湿度が高くなりやすい田んぼの近く、川や海辺など、換気が十分にできない場所への施工はお止めください。
- 無塗装品を現場で塗装される場合は、180番以上の番手で素地調整を行ってください。
- 床下コンクリートなど、下地が完全に乾燥していること（含水率10%以下）を確認してから、施工を始めてください。下地が乾いていない場合、フローリングや下地材に反りなどの影響を及ぼす場合があります。
- 本商品は、置床工法及び直貼工法にはお使いいただけません。

2. 施工

- 大引は90mm角以上、根太は45mm角以上の乾燥材を使用し、303mm間隔を基準とします。下張りには12mm以上の耐水合板をご使用ください。床下の湿気が多い場合は、0.1mm以上の防水シートを根太と下張りの間に敷き込んで施工してください。
リフォームやリノベーション等の張替え現場の場合の下地も、既存の床の上に当社フローリングを施工するのではなく、厚み9mm以上の耐水合板を使用することを推奨します。下地のズレや動きなどは、フローリングの割れなどの不具合を起こす原因になります。
- 釘と接着剤（推奨 無垢床ボンド：KOAMB-002 積水フーラー（株）製 ※カタログ 189 頁をご参照ください。）を併用してください。水性ボンドは床鳴り、材の膨張の原因となりますので、ご注意ください。また、実部分には接着剤が入らないようにしてください。

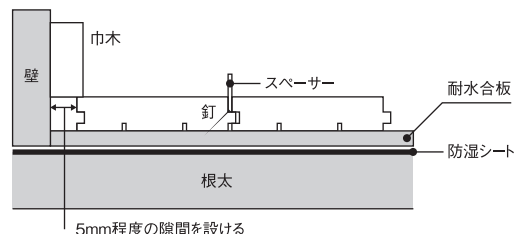


- 樹種によって材の堅さが異なります。実部の割れを防ぐために、下穴を開けてからの釘打ちが必要な場合もございます。
- 張り込み時に実を強く叩きすぎると、高湿時に膨張の原因となります。商品と一緒に納品される隙間ゲージ（梱包に1枚）を使って、クリアランスを取ってください。

免責事項のご案内

- 商品到着後、施工前に商品の内容をお確かめください。
施工後のクレーム（曲り、反り、膨張、収縮、割れ、日焼け、貼り間違い等）は、応じかねますので、必ず検品をしてから施工を始めてください。施工前に、商品の不具合が判明した場合は、直ちにご連絡をお願いします。弊社の責めによる場合は、速やかに代替品の発送手配をさせていただきます。
 - クレームが発生し、商品の設置や取り外しなどの工事を行った場合、当社製品が直接の原因となるクレーム以外は、費用の負担はいたしかねます。また、商品開梱後、切削された後の交換及び返品は、お受けいたしかねます。
 - 無垢材の性質上、色柄の違いなど、やむを得ないものは、クレームの対象外とさせていただきます。
- お客様におかれましては、こちらをご理解いただいた上でご採用くださいますようお願い申し上げます。

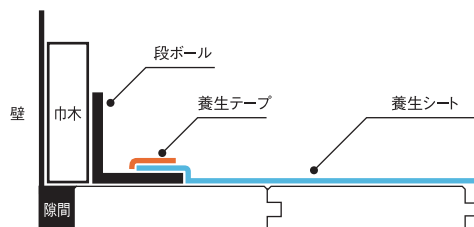
- 壁際へは密着させず、両端合計10mm程度のクリアランスを設けてください。床材の膨張による壁や柱への影響を防ぎます。



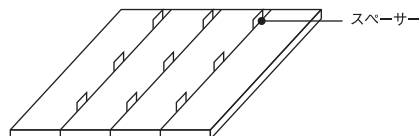
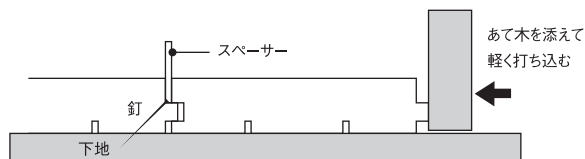
- 掃き出しサッシ、浴室サッシへの納めは、結露などによる水濡れの可能性が高い為、必ずクリアランスを取りコーキング処理をしてください。
- 施工後、床材の寸法変化を調整するために、最後の一行は5～7日間おいてから施工されることをおすすめします。

3. 養生

- 張り込み後は、表面保護のため床面をキレイに掃除し、細かいごみを完全に取り除いてから養生シートを敷き、養生テープで留めてください。但し、養生テープを床面に直接貼ることは、塗装面を傷つける場合がありますので、お止めください。



- 床面全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出していると、日焼けして他の部分と色違いが生じます。
- 養生後、定期的に換気を行ってください。湿気が溜まると、反りやささくれ等の原因となります。



- 付属のスペーサーで足りない場合は、販売も行っております。カタログ 189 頁をご参照ください。